

平成 29 年 11 月 28 日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の開講

総務省は、本日、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講します。

本講座は、実践的なデータ分析の手法を学習することができます。

- 本日、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講します。本講座は、平成 28 年 4 月に実施した講座を再び開講するものです。
- 本講座は、行政やビジネスでの活用を想定した実践編講座として、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を学ぶことができる内容となっており、どなたでも無料で受講することができます。
- 本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan2>）から、平成 30 年 1 月下旬まで受講登録が可能ですので、是非御活用ください。

（別添資料）

- 別紙 1 データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要
- 別紙 2 データサイエンス・オンライン講座の概要
- 別紙 3 これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座の概要

（連絡先）

統計局統計利用推進課

担当：高橋課長補佐 佐伯統計専門職

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

【別紙 1】 データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

ビジネスの現場で求められているデータサイエンスを分かりやすく解説

【講座の特徴】

- 企業等で活躍するデータサイエンティストを講師に起用
- ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析の手法を習得する

【学習の流れ】

《講義動画》

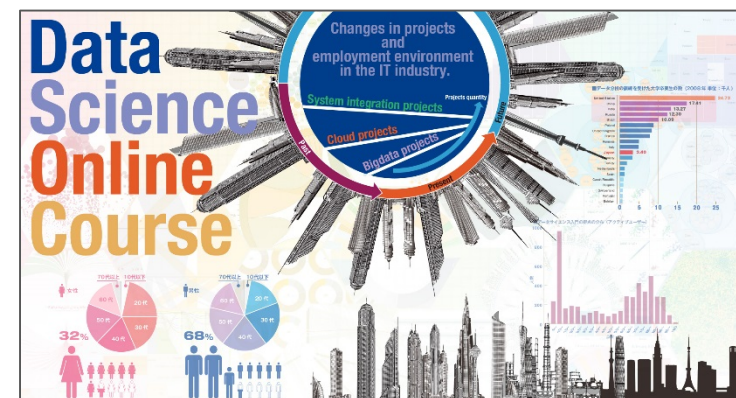
データ分析の手法や留意点を解説（1コマ10分程度、各週5～6コマ×5週）

《補講動画》

課題を解答するために必要な知識を解説（1コマ10分程度、1コマ×第2～4週）

《確認テスト及び最終課題》

講義内容の理解度をチェック（第2～4週各8問程度、最終課題15問程度）



週	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

【別紙2】 データサイエンス・オンライン講座の概要

日本政府初のMOOC（ムーク）^{*}講座として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設（平成27年3月）

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

《※MOOC（Massive Open Online Coursesの略）》

インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了証を発行

講座選び



受講登録



受講



修了証の発行

《日本では》

日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」（日本オープンオンライン教育推進協議会）が平成25年11月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。

「社会人のためのデータサイエンス入門」

講座の特徴：データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

開講時期：平成27年3月・11月、28年4月※・12月、29年5月※

学習時間：1回10分程度×4～7回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約49,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

講座の特徴：「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

開講時期：平成28年4月・11月※

学習時間：1回10分程度×5～6回程度(1週間)×5週

実績：社会人を中心に延べ約18,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

講座の特徴：公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

開講時期：平成29年6月、10月※(開講中)

学習時間：1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約8,000人が受講